

Bonjour

ボンジュール!!

2014年
12月17日号
Vol.197



NISA元年、リターンがよかった資産は？

● NISA元年、そろそろ終了

2014年は、記念すべき「NISA(少額投資非課税制度)」元年。皆さんはNISA口座で投資しましたか？実は、約7割の方が口座を作っただけでどの資産にも投資していないそうです(2014年8月末時点)。来年こそは、「やっていけばよかった！」と後悔しないよう、早めに作戦を立てたいものです。

● 2014年の勝者は？

2014年は、米国を中心とした景気回復と円安の進行によってマーケットは概ね堅調でした。どの資産に投資しても失敗の少ない年だったといえます。

米国リートが1位: 主要資産別にみると、円安の効果もあって海外資産がより大きく上昇しました。最も上昇したのが米国リートでプラス41.5%でした。続いて、世界高配当公益株式がプラス33.9%となりました。Jリートもプラス27.2%と好成績でした。

絶大な円安効果: 米ドル・円の為替レートが13.2%の円安と昨年に引き続き円安が進行しました。この円安効果を除いた米ドルベースでみると、人気のMLPも3%しか増えていません。海外資産のプラスの立役者は円安だったことが分かります。

今年も強さを保った日本株式: 昨年プラス50%近くと大幅に上昇した日本株式は、今

年はプラス10.4%と少々落ち着いたものの、上昇基調を継続しました。Jリートも同様に好調で、アベノミクスや黒田日銀総裁の政策など日本への注目は続きそうです。

● まずはやってみよう!

今年、何も投資しなかった人は、好調な相場の恩恵を受けることはできませんでした。投資は「まずはやってみる」ことが大切。NISAの制度を活かして、少額からでも投資を始めてみませんか？

2014年の主要資産の騰落率

(円換算、期間:2014年1月6日~2014年12月12日)

| | 資産名 | 騰落率 |
|----|------------|-------|
| 1 | 米国リート | 41.5% |
| 2 | 世界高配当公益株式 | 33.9% |
| 3 | Jリート | 27.2% |
| 4 | 米国株式 | 26.5% |
| 5 | MLP | 16.2% |
| 6 | オーストラリア国債 | 15.5% |
| 7 | 米ドル・円 | 13.2% |
| 8 | 米国ハイイールド債券 | 12.8% |
| 9 | 新興国株式 | 12.2% |
| 10 | 日本株式 | 10.4% |

世界高配当公益株式:MSCI世界高配当公益株価指数、米国株式:S&P500種指数、日本株式:TOPIX、新興国株式:MSCI新興国株価指数、オーストラリア国債:シティ・オーストラリア国債指数、米国ハイイールド債券:シティ・ハイイールド・マーケット指数、Jリート:東証リート指数、米国リート:FTSE/NAREITオール・エクイティ・リート指数、MLP:S&P MLP指数 すべてトータル・リターン MSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。出所:ブルームバーグ、トムソン・ロイター・データストリームのデータを使用しビクテ投信投資顧問作成

当資料はビクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。